

## 奥多摩・落沢報告

【日時】 6月2日（土）

【天候】 晴れ

【行程】 千葉→中央道八王子 IC→奥多摩湖→山のふるさと村キャンプ場  
→奥多摩湖遊歩道経由入溪地点→落沢逆行→奥多摩周遊道路横断  
地点(終了地点)→山のふるさと村キャンプ場→帰葉

【参加メンバー】 柘植(CL)、鈴木憲(SL)、澤田路、飯田(記録)

【内容】 中央自動車道八王子 IC で降り奥多摩湖を目指す。水不足で取水制限のニュースが毎年のように流れるけれども、今のところ湖の水量は十分のようだ。湖面の光り輝く奥多摩湖とはお別れし、入溪地近くの駐車場へと車を走らせる。

到着後沢装備を装着し出発。しばらくは湖沿いの遊歩道歩く。地図を開くと、落沢は突き詰めれば風張峠につながる沢で、沢の名前も載っていることから大きな沢なのだろうと想像していたら、あれれ？意外に入溪地は沢が細いのだ。

周遊道路の工事による影響があつて沢はかなり変化があつたようで、歩き始めると巨岩の塊と大量の土砂が流れ込んだせいか倒木がやたらと多い。だが、巨岩はコケで覆われており着実に回復しているようだ。自然の力強さに感心してしまう。

岩と倒木の沢沿いよりも沢の中の方がよっぽど歩きやすい。淵も深い所でせいぜいひざ上程度。滝は 10M 程度のが一か所だけ。その滝は支流から流れ込んでいて、水量はやや少なめ。まあ、滝に打たれるのにはちょうど良いかもね。

途中、自然の力なのかそれともただの劣化なのか、破損した人工物がいくつもあった。自然は破壊されてしまうと元には戻らないが、形を変え

て回復はするだろう。だが、人工物は朽ち果てるだけで無残だ。

難所と言えるほどの所は無いけれど、堰堤を巻くのがちょっと一苦勞。石を積んだような堰堤もあって簡単に登れそうだけれど、この岩が意外と脆く崩れてしまうので、ゆるゆるの斜面を四つん這いで登る羽目に。これが一番きつかった。

堰堤を超える度に沢は細くなる一方で、周遊道を走るバイクの爆音が大きくなる。歩き続けると遂に沢は枯れてしまい、自然の驚きと虚しさを併せ持った落沢も終了だ。斜面を登り、周遊道に出て、走り抜けるバイクに注意しながらキャンプ場に戻り帰葉となった。



**身支度して出発！**



**ちょっと藪っぽい入溪地**



**淵は浅いけども…。**



**10Mくらいの大滝？**



**何かの残骸。自然の力は凄まじい。**



**小さな滝を登るのは楽しい。**



**右岸の植林は残念な光景。**



**小さいけどナメっぽいのもあるよ。**



**この堰堤が意外と脆いです。**



**巻くのにも斜面が結構きつい。**



**周遊道にたどり着いて終了。**



**お疲れ様でした。**